

抽選
150名
無料

令和6年度 中京区民ふれあい人権映画鑑賞会／ 「望み」参加者募集!!

中京区民ふれあい事業実行委員会及び中京区役所では、あらゆる差別がない「人権文化の息づく中京のまち」の実現を目指し、人権啓発の取組を行っています。

この度、人権月間の取組として「中京区民ふれあい人権映画鑑賞会」を実施しますので、ぜひご参加ください。

日時 12月8日(日) 13時半～16時
(受付13時～)

場所 ヒューリックホール京都
(蛸薬師通河原町東入備前島町310-2)

内容 ①ミニ講演会
講演：更生保護施設「盟親」施設長 松平 正守氏
②「望み」鑑賞会

対象 市内在住・通学又は通勤の方

手話通訳 あり

- ①無料／ミニ講演会のみ
映画は日本語字幕と音声ガイド（オープン形式）が付いたユニバーサル上映です。
②要予約／必要な方はお申込み時にお知らせください。



©2020 「望み」製作委員会

【ストーリー】

監督：堤幸彦 出演：堤真一、石田ゆり子 ほか

建築家として成功した頼りがいのある父、家で校正の仕事をする優しい母、サッカーに打ち込む人気者の高校生の息子、成績優秀でいつも明るい中学生の娘。そんな誰から見ても幸せな一家が変わってしまったのは、息子がケガをして、サッカー選手になる夢を諦めたことがきっかけだった。反抗的な態度をとり、夜遊びをするようになった息子が姿を消したその日、彼の友人が殺害される。事件には3人の少年が関わり、もう一人殺されたという噂が広がった。その日から、世間からの誹謗中傷、マスコミの容赦ない追及を受けながら、父、母、妹、それぞれの〈望み〉が交錯していく――。

申込み 11月22日(金)までに「京都市民コール」(2・3面下部参照)にて受付。
※申込時に、氏名(ふりがな)、電話番号、郵便番号、住所、同伴者の有無(1名まで)、手話通訳希望の有無をお伝えください。

主催 中京区役所

共催 中京区民ふれあい事業実行委員会、中京区地域啓発推進協議会

問合せ まちづくり推進担当(☎812-2426 FAX841-8182)

中京安全安心大会を開催！



10月12日、京都出身の越前屋俵太さんを中京警察署一日署長に迎え、佛教大学二条キャンパスでの式典や、京都三条会商店街での京都両洋高等学校吹奏楽部・市立中京中学校吹奏楽部を先頭とした街頭パレードで防犯の大切さを呼びかけました。

皆さんも特殊詐欺や自転車盗などの犯罪被害に遭わないよう、防犯について改めて考えてみましょう。

問合せ まちづくり推進担当
(☎812-2426 FAX841-8182)



防災豆知識をお届け！ ～家にあるもので、今からでもできる～

第9弾 見落としがちな「粉じん対策」

震災に備え、枕元に靴やスリッパを置いて、安全にすぐ逃げられるように対策をされている方も多いと思います。

しかし、見落としがちなのが「粉じん対策」です。

大きな災害時は建物の倒壊などで、目に見えない粉じんが大量に舞います。粉じんは一旦吸い込むと、肺から出ることはなく、窒息や将来の肺機能を低下させる大きな原因になります。そこで今回は、災害時の「粉じん対策」をご紹介します！

【対策1】大きなバンダナをいつも持ち歩くカバン等の中に入れておきましょう。

口の周りに巻くことで、粉じんの吸い込みを防ぎます。

また帯状にすることで止血できたり、石を包むことでハンマーにもなります。



【対策2】非常用持出袋には必ず家族分のマスクを用意しておきましょう。

「粉じん防止用マスク」もありますが、市販のマスクでもよく、隙間がないように装着することが大切です。



(情報源：メタモル出版「くらしの防災」、日本放送協会「みんなで考える防災」/監修：防災寺子屋・京都)

問合せ 企画担当(☎812-2421 FAX 812-0408)



「応急手当普及員資格」 ご存じですか？



～あなたの知識・技術が誰かの命を救います！～

「応急手当普及員資格」とは、普通救命講習(救命に係る応急手当を学ぶ3時間の講習会)の講師として、受講者に対し応急手当の指導をすることができる資格のことです。取得するためには、知識・技術や指導要領など、延べ24時間(3日間)の講習を受ける必要があります。

この資格者であれば、消防職員等が立ち会うことなく、職場や町内で救命講習を実施することが可能で、事業所内や地域において、救命に係る応急手当ができる方々の輪を広げることができます。心肺蘇生訓練人形や訓練用AED(自動体外式除細動器)等の普通救命講習を実施するのに必要な資器材も、この資格があれば、消防署から借りることができます。

心肺停止等の緊急事態にいつどこで遭遇するかわかりません。一人でも多くの命を救うため、救命の知識・技術を深め、「応急手当普及員資格」を取得し、そして職場や地域にあなたの救命知識・技術を広めてください。